ラチェットポリエチレンカッタ　取扱説明書

■はじめに

ラチェットポリエチレンカッタをご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、十分理解した上で、正しくお使い下さい。

カッタ品名	カッタ品番
ラチェットポリエチレンカッタ　１００	ＲＰＥ－１００
ラチェットポリエチレンカッタ　１５０	ＲＰＥ－１５０
ラチェットポリエチレンカッタ　２００	ＲＰＥ－２００

この取扱説明書は、ラチェットポリエチレンカッタを安全にお使い頂き、あなたや他の人々への危害と財産への損害を未然に防ぐために守って頂きたい事項が記載されております。お読みになった後は、ラチェットポリエチレンカッタ（以後、カッタ）をご使用される方が、いつでもお読みになれるように、保管しておいて下さい。

わかり易くするための表示と図記号の意味は、次のようになっていますので内容をよく理解してからお読み下さい。

・警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しております。
・注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示しております。

なお、「・注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。

いずれも、安全に関する重要な事項が記載されていますので、必ずお守り下さい。

■使用目的欄

ポリエチレン管、ポリブテン管　の切断用工具。

■使用対象管

ガス用ポリエチレン管(JIS K 6774)、水道配水用ポリエチレン管(JWWA K 144(ISO)、PWA 001(JIS))、ポリブテン管(JIS K 6778)

カッタ 品名	カッタ 品番	ＪＩＳ寸法		ＩＳＯ寸法		厚み
		呼び径	外径	呼び径	外径	
ﾗﾁｪｯﾄﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｶｯﾀ 100	ＲＰＥ－１００	75～100	89～114㎜	75～100	90～125㎜	12㎜以下
ﾗﾁｪｯﾄﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｶｯﾀ 150	ＲＰＥ－１５０	100～150	114～165㎜	100	125㎜	17㎜以下
ﾗﾁｪｯﾄﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｶｯﾀ 200 ※	ＲＰＥ－２００ ※	150～200	165～216㎜	150	180㎜	20㎜以下

※ラチェットポリエチレンカッタ　２００(ＲＰＥ－２００）の 旧モデル(握り塗装色:赤)は、ガス用ポリエチレン管専用です。

※本商品の仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

■安全上のご注意

⚠ 警　告

①このカッタの刃(以後カッタホイール)は大変鋭利になっています。けがをする恐れがありますので、直接、手指で触れないように注意して下さい。切断作業時 及び カッタホイール交換時には必ず保護手袋を着用して下さい。

②切断作業の際には安全靴を着用して下さい。切断終了時に管とカッタが一体で落下した場合、大きな災害につながることがありますので、管下部を支えるなどの措置をとって下さい。

③このカッタを持ち運ぶ際は、ラチェットハウジングの損傷を防ぐため、ラチェットハウジングを本体に収まる位置へ動かし、止めボルトと止めナットで確実に固定して下さい。止めボルトが緩むとラチェットハウジングが不意に回わることがあり、手指を挟んでけがをする恐れがあります。

⚠ 注　意

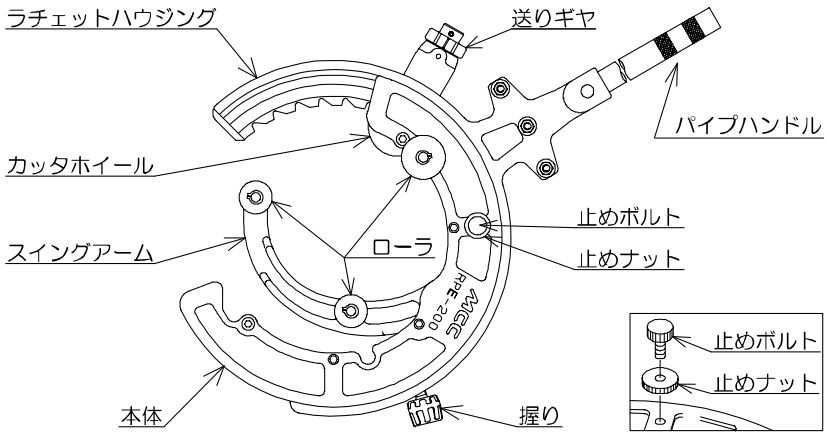
①カッタを落下させないで下さい。破損又は機能に支障が発生する恐れがあります。

②この取扱説明書に記載された使用目的、仕様の範囲でご使用下さい。カッタを改造したり、仕様を逸脱することはしないで下さい。カッタの故障原因となるばかりか、事故を誘発する恐れがあります。

③カッタ及び管に付着している土･砂や異物は取り除いてから使用して下さい。カッタ及び管に土･砂や異物が付着したまま切断作業をするとカッタホイールが破損したり、切断面が変形するなど切断不良の原因となります。

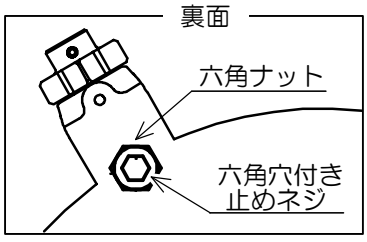
④カッタの各部は常に注油・点検を行い、損傷のある状態では使用しないで下さい。

■各部の名称



■使用上の注意

左図裏面、送りギヤの下にある六角ナット、六角穴付き止めネジは緩めないで下さい。切断不良（螺旋切れ）の原因となります。



■作業の前に（日常の点検・メンテナンス）

①カッタ各部に異物の付着がないか点検し、異物が付着していれば取り除いて下さい。
②各部のボルト及びナットが緩んでいないかを点検し、緩みがあれば増し締めをして下さい。
③カッタのローラ部など可動部分、ラチェットハウジングなどの摺動面などに注油して下さい。
④カッタのローラ部など可動部分がスムーズに動くか、破損していないか、ローラ部のＣ形止め輪などの脱落はないかなど点検し、異常があれば修理をご依頼下さい。
⑤カッタホイールを点検し、欠けがあればカッタホイールを交換して下さい。

■操作方法

①管に付着している土や汚れなどを取り除いて下さい。
・注：カッタ及び管に土･砂や異物が付着したまま切断作業をするとカッタホイールが破損したり、切断面が変形するなど切断不良の原因となります。
②「止めボルト」を緩め「ラチェットハウジング」を「本体」に収まる位置へ動かし「止めボルト」で仮り止めして下さい。（図１）
③「送りギヤ」を 左回し して カッタホイール が「ローラ」より少し下がる位置まで戻して下さい。
「握り」を 左回し して「スイングアーム」が全開になるまで戻して下さい。（図２）
④カッタを管に装着し、「握り」を 右回し して「スイングアーム」の「ローラ」を管にあてがって下さい。
・注：３ヶ所全ての「ローラ」が管に接していないと､切り口が らせん状 になり切断できない場合があります。「ローラ」が確実に管に接するように、カッタを 前後左右 に動かして管になじませて下さい。
「送りギヤ」を 右回し して「カッタホイール」が管に少し喰込むまで送り込んで下さい。（図３）
⑤「止めボルト」を緩め、切断中に「止めボルト」が締まらないように「止めナット」で固定して下さい。
「パイプハンドル」を前後に往復させると、ラチェット機構により徐々にカッタホイールが管に切り込みます。（図４）
⑥切断が完了したら、管に装着した位置（「ラチェットハウジング」が「本体」に収まる位置）まで「パイプハンドル」を動かし、「止めボルト」で固定して下さい。
「送りギヤ」を 左回し して カッタホイール を戻してから、「握り」を 左回し して「スイングアーム」を開いて、管からカッタを取り外して下さい。（図５）

図１

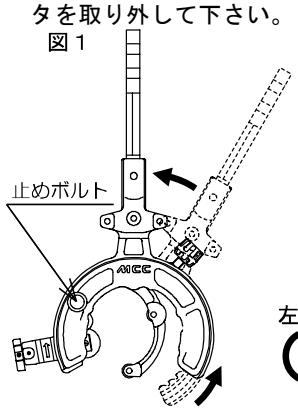


図２

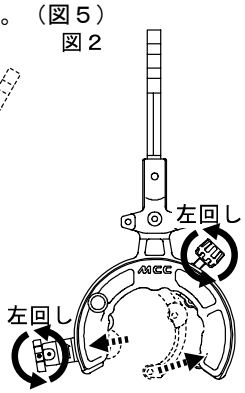


図３

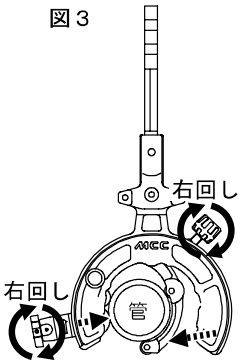


図４

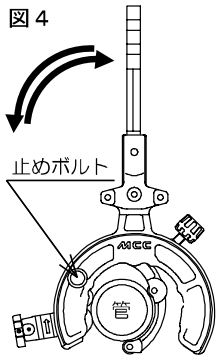
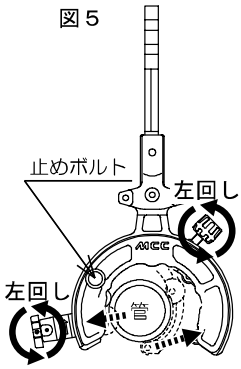


図５



■替刃（カッタホイール）

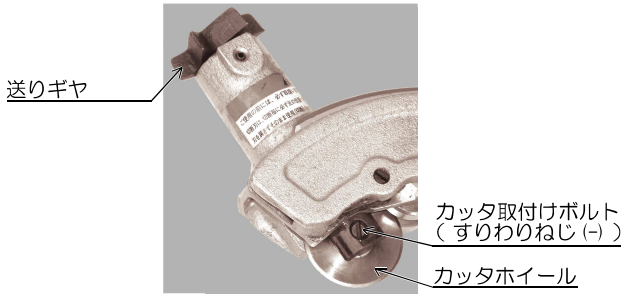
替刃をお買い求めの時は、カッタに対応する替刃品番をご指定下さい。

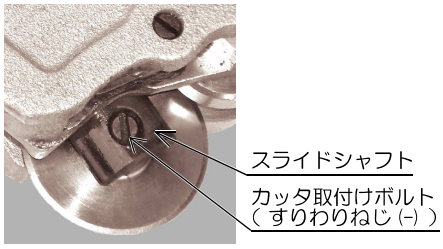
カッタ品名	カッタ品番	替刃品番
ラチェットポリエチレンカッタ １００	ＲＰＥ－１００	ＰＥＥ１００
ラチェットポリエチレンカッタ １５０	ＲＰＥ－１５０	ＰＥＥ１５０
ラチェットポリエチレンカッタ ２００ ※	ＲＰＥ－２００ ※	ＲＰＥＥ２００Ｈ

※握りの塗装が赤色のカッタは、ＲＰＥ－２００ の 旧モデルです。
旧モデルのＲＰＥ－２００には「替刃品番：ＰＥＥ２００」をご使用下さい。

◆交換手順

①「送りギヤ」を手で右へ回し「カッタホイール」を送り出します。
②露出した「カッタホイール」中心部の「カッタ取付けボルト（ すりわりねじ(-) ）」を緩め取り外して下さい。
③新しい「カッタホイール」を逆の手順で取り付けて下さい。
・注：「スライドシャフト」が脱落した場合は、「スライドシャフト」を押し込みながら「送りギヤ」を左へ回して下さい。





株式会社 MCCコーポレーション
株式会社 松阪鉄工所
☎(059)234-2454
http://www.mcccorp.co.jp